

再開発に係るこれまでの経過

| |
|---|
| 民間再開発のなかで市の交流・集客拠点施設を整備 |
| 市：公会堂と市民会館の機能(近隣向け会議室機能等を除く)の統合化によりコンベンション機能を強化 |
| 民：会議室機能の一部やバンケット機能、宿泊機能など民間活力による整備を期待 |
| 風格ある県都を目指すまちづくり構想(H30.12月) |

| 「多様な交流・にぎわいを創出するふくしまコンベンション」 | | | | |
|------------------------------|------------------------|---------------------------|-------------------|-------------------|
| 市民活動の拠点 | | にぎわい創出の拠点 | | コンベンション機能の強化 |
| 気軽に立ち寄り 日常的利用ができる | 風格ある県都として 広域的な拠点となる | 福島らしさを表現し文化 芸術活動の拠点となる | 様々なイベント を可能とする | ワンストップ サービスが可能 |
| 福島駅前交流・集客拠点施設整備基本計画(R2.3月) | | | | |

工事費高騰・コロナ禍等 →

収支改善努力も限界
計画見直しへ

【市議会】

2/2 全員協議会・説明会

- 分棟化+ダウンサイジング案に至るまでの検討経緯
- 劇場ホール単独案(A案)、コンベンションホール単独案(B案)
- テナント交渉等の状況(再開発組合)

5/1 全員協議会

- 福島駅周辺まちづくり検討会における検討状況
- 民間エリアの施設イメージとテナント状況

【駅周辺まちづくり検討会】

2/8 第1回検討会

- 分棟化+ダウンサイジング案に至るまでの検討経緯
- 劇場ホール単独案(A案)、コンベンションホール単独案(B案)

2/28 第2回検討会

- A案、B案のメリット・デメリット(機能、利用シーン、稼働率など)
- 論点整理(特色・魅力ある施設にするための工夫、集客・交流拡大の肉づけ)
 - ➔ コンベンションホール単独案(B案)の方向性でおおむね一致
 - 「可変性がある多様な使い方ができる」
 - 「まちに開かれ、まちとのつながりができる」

4/23 第3回検討会

- コンベンションホール単独案(B案)の場合の肉づけ案(コンセプト・イメージ)
 - ➔ コンセプト・イメージについておおむね賛同
 - 委員長が提言(案)を作成、次回検討会で議論

5/14 第4回検討会

- 再開発見直しに関する提言案の協議 ➔ 5/16 検討会から提言の提出

【タウンミーティングなど】

2/17 駅周辺タウンミーティング

参加者100名 男性67%:女性33%
20代6%、30代5%、40代11%、50代9%、
60代26%、70代17%、80代以上4%、
未回答22%

3/23 若者とのタウンミーティング

参加者36名 男性58%:女性42%
10代36%、20代44%、30代14%、40代6%

4/27 駅前まちづくりワークショップ

参加者30名 男性67%:女性33%
10代20%、20代57%、30代23%

※このほか要請を受け出前講座実施